

『大阪大学微細構造解析プラットフォーム地域セミナー

in MOBIO - Cafe 』

## 阪大が進める最先端の解析技術

～電子顕微鏡が新製品・新技術開発の問題を解決！～

≪主催≫大阪大学超高压電子顕微鏡センター

≪共催≫文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム、MOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪）

現代社会においては、製品内部の機器、製品を構成する材料等の開発にナノテクノロジーが活用されてきています。マクロなスケールの製品開発においても、ミクロな技術を取り入れることで、画期的に製品の高機能化、高信頼性化等を達成できる場合があります。身の回りの多くの製品の価値を高めることは、経済発展への貢献度を高めていくことにもつながります。

このような背景において、文部科学省がナノテクノロジーに関わる大学・研究機関の最先端の研究設備とその活用のノウハウを提供して、多様な利用者による共同利用を促進し、産業界の技術課題の解決に貢献することを推進する「文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業」が行われています。

今回のMOBIO-Cafeでは、大阪大学超高压電子顕微鏡センターが、本事業の実施機関として参画している「阪大微細構造解析プラットフォーム」の概要やその利用方法、さらにこれまでの研究実施事例などをご紹介します。

阪大がもつ電子顕微鏡による最先端の解析技術を、新製品・新技術開発の問題解決に利用していただくためのヒントにつなげていただくと幸いです。

皆様のご参加をお待ちしております。

[講演内容] 阪大が進める最先端の解析技術

～電子顕微鏡が新製品・新技術開発の問題を解決！～

[講師] 大阪大学超高压電子顕微鏡センター

教授・副センター長 保田 英洋

【日時】平成25年12月9日（月）

〈セミナー〉18:30～19:30 〈交流会〉19:30～20:30

【場所】クリエイション・コア東大阪 南館2階 第1会議室

【募集人数】30名程度（先着順・要事前申込、募集締切：定員に達し次第、受付終了）

【対象】ものづくり中小企業、試験研究機関ほか

【参加費】無料（交流会参加者は1,000円/人）

【申込み・問合せ】MOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪） 担当：植木、下園

TEL：06-6748-1054 FAX：06-6745-2385

E-mail：[sangaku@gbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:sangaku@gbox.pref.osaka.lg.jp)

F A X : 0 6 - 6 7 4 5 - 2 3 8 5

E-mail : sangaku@gbox.pref.osaka.lg.jp

# 大阪大学微細構造解析プラットフォーム地域セミナー in MOBIO Cafe

企 業 名		
所 在 地		
所属・役職		交流会 (立食形式、お一人1,000円)  <input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない
氏 名		
連 絡 先	【電 話】 ..... 【E-mail】 @	
所属・役職		交流会 (立食形式、お一人1,000円)  <input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない
氏 名		
連 絡 先	【電 話】 ..... 【E-mail】 @	
所属・役職		交流会 (立食形式、お一人1,000円)  <input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない
氏 名		
連 絡 先	【電 話】 ..... 【E-mail】 @	

## 【MOBIO産学連携オフィス】 <http://www.m-osaka.com/jp/service/demae.html>

MOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪）の南館には、大学の持つ最先端技術・研究成果を中小企業に結びつけるため、関西圏を中心とした大学・高専が集結し、産学連携オフィスを設置しています。

大学・高専との産学連携については、産学連携オフィス総合窓口（大阪府ものづくり支援課 06-6748-1054）まで、お気軽にご相談ください。

### ◆◆◆◆◆ 会場までの交通案内 ◆◆◆◆◆

MOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪）

〒577-0011 東大阪市荒本北 1-4-1

<電車をご利用の場合>

- ・地下鉄中央線 長田駅下車 3番出口から北東に徒歩10分
- ・近鉄東大阪線 荒本駅下車 1番出口から北西に徒歩5分

※専用駐車場がありませんので、お車でお越しの場合は、東大阪  
市役所（有料）・大阪府立中央図書館（有料）もしくは近隣の  
駐車場をご利用ください。

